

平成24年第2回多賀城市議会臨時会会議録（第1号）

平成24年7月17日（火曜日）

◎出席議員（18名）

議長 板橋 恵一

1番 柳原 清 議員

2番 戸津川 晴美 議員

3番 江口 正夫 議員

4番 深谷 晃祐 議員

5番 伏谷 修一 議員

6番 米澤 まき子 議員

7番 金野 次男 議員

8番 藤原 益栄 議員

9番 佐藤 恵子 議員

10番 森 長一郎 議員

11番 松村 敬子 議員

12番 阿部 正幸 議員

13番 根本 朝栄 議員

14番 雨森 修一 議員

15番 吉田 瑞生 議員

16番 昌浦 泰已 議員

17番 竹谷 英昭 議員

◎欠席議員（なし）

◎説明のため出席した者の職氏名

市長 菊地 健次郎

副市長 鈴木 明広

監査委員 菅野 昌治

市長公室長 菅野 昌彦

総務部長 内海 啓二

市民経済部長 伊藤 一雄

保健福祉部長 鈴木 健太郎

建設部長 鈴木 裕

総務部次長(兼)総務課長 竹谷 敏和

市民経済部次長(兼)生活環境課長 佐藤 秀業

保健福祉部理事(兼)保健福祉部次長(兼)社会福祉課長 紺野 哲哉

建設部次長(兼)都市計画課長 永沢 正輝

市長公室震災復興推進局長 鈴木 学

市長公室参事(兼)市長公室長補佐(行政経営担当) 吉田 真美
市長公室参事(兼)市長公室長補佐(財政経営担当) 萱場 賢一
市長公室副理事(兼)市長公室長補佐(政策秘書担当) 小野 史典
建設部次長(下水道担当)(兼)下水道課長 鈴木 弘章
会計管理者 永澤 雄一
教育委員会教育長 菊地 昭吾
教育委員会事務局副教育長(兼)教育総務課長 大森 晃
水道事業管理者 佐藤 敏夫
◎事務局出席職員職氏名
事務局長 伊藤 敏明
参事(兼)局長補佐 鎌田 洋志
主幹 櫻井 道子

午後 1 時 30 分 開会

○議長（板橋恵一）

皆さん、こんにちは。

ここ数日、暑い日が続いておりますが、皆さんクールな気持ちでもって、きょうの会議に臨んでいただきたいと思います。

これより平成 24 年第 2 回多賀城市議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の日程は、お手元に配付いたしました議事日程第 1 号のとおりであります。

日程第 1 会議録署名議員の指名

○議長（板橋恵一）

日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 99 条の規定により、議長において竹谷英昭議員及び柳原清議員を指名いたします。

日程第 2 会期の決定

○議長（板橋恵一）

日程第 2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日 1 日間といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（板橋恵一）

御異議なしと認めます。

よって、会期は 1 日間と決定いたしました。

日程第 3 議案第 67 号 工事請負契約の締結について

○議長（板橋恵一）

日程第 3、議案第 67 号 工事請負契約の締結についてを議題といたします。

職員に議案を朗読させます。

（局長 報告朗読）

○議長（板橋恵一）

市長から、提案理由の説明を求めます。市長。

○市長（菊地健次郎）

議案第 67 号 工事請負契約の締結についてであります。これは仙石線多賀城・下馬間下水道施設改築工事について、記載の相手方と記載の金額による工事請負契約を締結するため、地方自治法第 96 条第 1 項第 5 号の規定により議会の議決を求めます。なお、詳細につきましては建設部長に説明させますので、よろしくお願い申し上げます。

○議長（板橋恵一）

建設部長。

○建設部長（鈴木 裕）

それでは、資料に基づいて御説明申し上げます。

資料の 2 ページをお開きください。

このたびの工事は、仙石線多賀城地区連続立体交差事業に伴い、仙石線多賀城・下馬間下水道施設改築工事として公共下水道雨水工事を実施するものでございます。

東日本旅客鉄道株式会社と協議を重ねた結果、協定金額を 2 億 1,840 万円で同社との随意契約とする工事協定を締結するものでございます。

工事名は、記載のとおり仙石線多賀城・下馬間下水道施設改築工事でございます。

3 ページをお開き願います。

3 ページの位置図でございますが、工事場所は中央 3 丁目地内で留ヶ谷 1 号雨水幹線の鉄道横断部分でございます。

施工期間は、平成 25 年 9 月 30 日までの 2 カ年を予定しておりますが、管渠工事につきましては平成 25 年 7 月までには完成する予定でございます。

次に、工事の内容を御説明申し上げます。4 ページをお開き願いたいと思います。

4 ページの平面図並びに標準横断図をごらんいただきたいと思います。工法は開削になります。まず、市道大土手線から軌道敷内を横断し、合流枿までの延長 50.1 メートルに幅が 4 メートル、高さ 2.3 メートルのボックスカルバートを築造いたします。接続する合流枿は、幅 4.3 掛ける 4.7 メートルで、高さが 3.7 メートルの合流枿を 1 基築造いたします。この合流枿から 45 号線方向に向かって幅 4.5 メートル、高さ 3.5 メートルのボックスカルバート、延長 23.5 メートルを築造しまして、既設の雨水幹線へ接続します。

また、合流枿から軌道敷脇を南側に向かって幅 3.1 メートル、高さ 2.4 メートルのボックスカルバートを延長 6.2 メートル築造し、既設の雨水幹線と接続いたします。

以上で、工事の概要の説明を終わります。

○議長（板橋恵一）

これをもって提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。13 番根本朝栄議員。

○13 番（根本朝栄議員）

契約の相手方が JR ということですね。前回もお話したことあるんですけども、随意契約で JR の場合は、こういう契約の仕方しかしようがないということなんですけれども、部長もよく御存じだと思いますが、やっぱりどうしても、ここに競争の原理が何も働いていないということに一つの疑問を感じると。まず、この金額が決定する経緯というのは、どういう経緯なのか。例えば、本市できちっと見積もりをとっておいて JR のほうからも数社から見積もりをとって、きちっとそういう調整をしているのか、どういう形でこの金額が決まっているかということをお伺いしたいと思います。

○議長（板橋恵一）

建設部次長。

○建設部次長（下水道担当）（兼）下水道課長（鈴木弘章）

金額についてでございますが、まず多賀城市のほうで、この横断部分の設計を行ってございます。その設計に基づきまして、多賀城市におきましても概算工事費等をはじめしております。あとは JR のほうと協議をいたしまして、その金額が妥当であるというふうな判断をさせていただきまして、今回上げさせていただいているところでございます。

○議長（板橋恵一）

根本議員。

○13 番（根本朝栄議員）

いわゆる入札のときは、今のように市のほうで見積もりをとって価格をある程度……、予定価格を決めますね。それで、今のがその予定価格に該当すると思います。それで調整して、よかったということなんだけれども、一般入札をする場合は予定価格と同額ということはあり得ないですね。多賀城市の場合は平均 90% ぐらいなんですよ。そうですね。だから、そういうことを考えると市のほうで出した見積もりが、そのまま JR 関係で認められて、その同額が随意契約金額になるということが、これは当然競争の原理働かないから、そうならざるを得ないんだろうと思うんだけど、入札のときは 100% 予定価格どおりということはありませんよね。そういうことを考えたときに、一般入札と随意契約を考えたときに、何かその、わかっているんだけど何となく理解しがたい、そういうものを感じるんですけども、担当者としてはそういうものは全く感じないのか、感じながらもしようがなくやっているのか、その辺はどうなんでしょうか。

○議長（板橋恵一）

建設部長。

○建設部長（鈴木 裕）

できるだけ工事費を縮めるための、お互いの協議を随分重ねてございますので、最終的に合意した金額で随意契約をしているという状況でございますので、なるだけ抑えていくという方向ではこちらも努めていますし、それと JR との中で、協議の中でそれを詰めていっているという状況ですので、最終的に合意した金額で随意契約という形になります。

○議長（板橋恵一）

ほかにございませんか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

○議長（板橋恵一）

これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。この際、討論を省略し、直ちに採決に入りたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（板橋恵一）

御異議なしと認めます。

これより、議案第 67 号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（板橋恵一）

御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

○議長（板橋恵一）

以上をもちまして、本臨時会の会議に付議された案件はすべて議了いたしました。

これにて平成 24 年第 2 回多賀城市議会臨時会を閉会いたします。

どうも、御苦労さんでございました。

午後 1 時 40 分 閉会

以上、地方自治法第 123 条第 2 項の規定によりここに署名する。

平成 24 年 7 月 17 日

議 長 板 橋 恵 一

署名議員 竹 谷 英 昭

同 柳 原 清